

ライバル対談

TUNING PART

パルサーGTI-Rは2リッ

ライトウエイトスポーツ感覚の 俊敏なマシンにビルドアップ

PRODUCED BY HKS関西サービス ☎07438-4-0126



圧縮比(過給圧1.0kg/cm²) 65 ϕ 試作ターボ
マフラー パワーフロー100 ϕ 改 SLD
ブースト計 排気温度計 AVS(6J-
10) アトバングローバ(205/50R16)

HKS関西サービスではダートラマシンのビルドアップも多く、フルタイム4WDのノウハウも豊富。エンジンからサスペンションまでトータル的に手を加え、2BOXのボディに見合ったライトウエイトスポーツ感覚のマシンに仕上げていく予定だ。

燃料系に関してはF-CONのハーネスがまだでき上がってこないことから、現在はノーマル。しかし、オリジナルロムの燃料プログラムはすでに計算されており、ハーネスができ次第、チューニングもグーッと進むはずだ。



(左) トライアル 村山メカニック
(右) HKS関西サービス 鈴木マネージャー

村山 あのボディに230Ps というからかなり期待したけど、230ps という走りじゃない。あまりにもマイルドで速さが感じられないね。

鈴木 このクルマはあくまでもWRCがターゲットだからね。GT-Rニスモに雰囲気似てるよ。ノーマルじゃはっきり言って遅い。

村山 スカイラインGT-Rがあまりにも速かったのでもっと期待しすぎたみたい。

鈴木 こういう固定式の4WDって、ギャラン、セリカなどみんな駆動系が重く感じるね。コーナーの立ち上がり、スタートは

4WDがいいんだけど、ストレートじゃ4WDはマイナスだね。

村山 4WDは安心感があってコーナーではいいんだけど。それとブレーキ、サスペンションも満足とはいえない。

鈴木 まずタイヤがブア。そしてタイヤを性能アップすればサスペンションがついてこない。今後タイヤを決めて、サスペンションをセッティングしなくっちゃ。

村山 足のセッティングはむずかしいですね。特に走りにウエイトを置いたこういうクルマはドライバーによってセッティングが異なってくるから。

鈴木 エンジンに過給圧アップとスポーツ

11月10日 日刊スポーツ